

事業報告

(2023年1月1日から2023年12月31日まで)

当連結会計年度(2023年1月1日~2023年12月31日)における国内経済は、入国制限の緩和が進んだことで円安により訪日外国人によるサービス需要の増加等経済活動の正常化の流れは継続している一方、金融資本市場の変動や物価上昇等、依然として先行きの不透明な経営環境が続いています。このような環境のもと、当社グループは、当連結会計年度も安定収益基盤の強化を図るとともに、自社運営ホテルでの大規模改修工事による施設の魅力拡充に取り組み、将来の成長に向けた基盤整備を進めました。

国内におけるオフィスビル賃貸市場については、東京都心5区における2023年12月末時点の平均空室率は6.03%と、前年同月比0.44ポイント低下しました。また、同エリアの同時点における平均賃料は19,748円/坪と下落傾向にあります。(三鬼商事調べ)。

このような状況の中、当連結会計年度も引き続きコンサルティング案件数及び不動産預り資産残高の増加に向けて取り組みました。収益力向上のための大規模改修工事を引き続き複数件実施したことにより、売上原価は増加傾向となっております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高 32,734,944 千円(前期比 24.6%増)、営業利益 2,991,114 千円(前期比 117.9%増)、経常利益 2,313,563 千円(前期比 176.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 950,497 千円(前期比 267.8%増)となりました。